



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

◎石叫 ■ 「日本伝道旅行」①

この五月一日から約一ヶ月間、安息休暇を利用して、沖縄の北に位置する奄美大島から青森県の津軽に至るまで日本縦断をした。こんなに長い日本滞在は牧会を始め以来、初めてである。僕はこれまで安息休暇を二回いたしているが、いずれも家内の看護のためで、僕自身ではとったことがない。それだけに、どこをどのように回ったら良いのか、去年から模索してきたのだが、東京聖書学院の一年先輩で同郷、津軽出身の工藤良一牧師の牧会先の奄美大島を訪問することは決めていた。彼はこれまで四回も五回もこの地を訪問してくれた。それは難病「脊髄小脳変性症」で、現在、身体障害者二級である彼のリハビリのためであったが、それにしても時間と財を投資して良く来て下さったものだ。二十七年間、難病と闘ってきた僕も、依然として歩くことも言うことも変わらなずにできていることを知って、心から安堵したものだ。実はこの病で、彼のように長生きしている人は先ずいない。この病は平均五年から十年の命といわれているからだ。彼は自身「私は希望の星です」と言っていたが、それは誇張でも何でもない。彼の弟さんは同病で寝たきりであり、ご尊父は、同病で召されている。その病状を確認することが、この旅の一つの目的でもあった。

昨年、横浜の井土ヶ谷教会を辞して、奄美に移ってからの様子を知らたくて、彼の訪問を祈っていたこともあり、山下ゲアリー教団委員長自らが、「安息休暇を取れ」と勧めてくれたこともあり、甘えることにした。彼は仕事で旅行する度ごとに、旅先からカードをくれる。「あなたの愛によって多くの喜びと慰めを与えられた」(「レモン」)とあるが、それがどれだけ僕を励ましてきたことか！

羽田空港からJALで二時間半、奄美に着いて先ず目についた看板が「いもーれ大島」であった。当然、歓迎という意味だとは分かったが、すぐに「アモーレ」を思ってしまった。この島の人たちはイタリアと関係しているのかなあと、思わず勘ぐってしまった。閑散とした空港から、かつて名瀬と呼ばれていた奄美市に向う。工藤先生から、「バスで四十五分、十二番目のバス停『バス営業所』で降りて下さい」と言われていたのだが、十二番目になっても、それらしき建物もないし、市内にも入っていない。それにまだ二十分も乗っていない。そこで乗っていることにした。迷ったら運転手さんに尋ねれば良い。四十五分もすると市内に入り、それらしき看板が見えたので、降りたのだが、工藤先生は居ない。はて、ここで降りて良かったのかどうか、一瞬迷ってしまった。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

